

歌やおどりなどがとてもすばらしかったです。なぞなぞをみんなでこたえたりするのが楽しかったです。

ひさしのゆうかんさが分かる話の中に面白い所もたくさんあったり、私たちもなぞなぞに参加することができて、とても楽しかったです！

おおうなぎがおもしろかった。なぞなぞの答えと一緒に考えながら最後まで楽しかったです。

うなぎをやいでいるところほんものみたいですごいと思いました。

問題に答えられてうれしかった！

子どもも大人も楽しめた！

みんなの感想

なぞなぞを一所懸命考えられた。観客をまきこむのがおもしろかった。

奇想天外のストーリーだけど色々考えさせられるテーマがあり、なぞなぞは一緒に考えられ、あっという間の楽しい公演でした。いろいろなぞを残したままというのもとってもいいと思いました。

子どもがよろこぶような仕掛けが随所にあり、「さすが！」とおもいました。

みんなに楽しんでもらいました！

カドヤ食堂のなぞなぞ 上演のご案内

構成人数	上演時間予定	準備時間	片付け時間
3名	1時間	3時間	1時間30分

休憩なし

小学校作品一覧はコチラ！



〒465-0018 名古屋市名東区八前一丁目112番地

TEL.052-772-1882

FAX.052-771-7868 www.urinko.jp info@urinko.jp

劇団うりんこは1973年、プロ劇団として創立。うりんことは「イノシシの子ども」とのこと。猪のように子どもたちのところへ真っ直ぐ走りたいという願いを込めて付けられました。以来、愛知、岐阜、三重の学校を中心に巡回公演を続け、今では活動は全国、海外に及びます。

1986年には「うりんこ劇場」をオープン。子どもたちが自らの力で自らの未来を創っていく「糧」になるような演劇を創りたいと活動を続けています。



カドヤ食堂の なぞなぞ

おっと待ちなよお客様
うな丼だけは、なぞなぞで

クラスのメゾメゾ王者が挑む冒険コメディ！

脚本・演出：佃 典彦
美術：青木拓也
照明：四方あさお
衣装：木場絵理香
音楽・音響：ノヤママナコ
振付：下出祐子
写真：服部義安
映像：山内崇裕
宣伝美術：くろだりか

幻のうな丼を求めて さあ冒険だ!

SCENE 1 ひとりで食堂へ! ドキドキ、うな丼を注文!

パンはパンでも
食べられないパンは
なあ～んだ?

SCENE 2 食堂のおじさんからなぞなぞを出される

SCENE 3 うな丼を食べるために なぞ解き力が必要!? ふたりは、うなぎを求めて 冒険をすることに!

SCENE 4 おじさんのブルースで ちょっとぴり切なくなる?

A man in traditional Japanese clothing (yukata) is shown in mid-stride, running across a yellow surface. He is wearing a light blue top and dark blue pants with a striped pattern. A red star and a blue star are visible in the background.

A photograph of a young man with short brown hair, wearing a yellow t-shirt with red text and green shorts, dancing against a yellow background. He is in mid-motion, with one arm extended forward and his legs bent. The image has a white border.

さすがゾクラ王者のなぞ

びっくり!

A man with long grey hair and a beard, wearing a yellow jacket, is singing into a red microphone. He has his eyes closed and is looking upwards with a joyful expression. The background is black with yellow trees and clouds.

ど難問んと珍問こ問い合わせ!

**歌って、踊って、
楽しくなる!!**

赤いよろいの腰曲がり、
腕はチョッキン
これなあ～んだ？

ENE
田んぼの番人が現る!
真剣なぞなぞ対決だ!

SCENE 6 先には通さない! カエルが合唱攻撃!!



STORY ストーリー

駅前の商店街にあるおんぼろ食堂、カドヤ食堂には、誰も食べたことがない幻のメニュー「うな丼」がある。留守番で夕食を一人で食べる事になった主人公ひさし。思い切ってカドヤ食堂で幻の「うな丼」を頼んでみた。すると食堂のおじさんは、「なぞなぞはとくいかい?」といって、ひさしを連れて裏口の小さなドアから暗い外へ出た。月明かりの中に広がる田んぼ、響き渡るカエルの声…。そこでひさしを待ち受けていたのは、田うなぎを守るなぞなぞの番人だった!



MESSAGE メッセージ

クイズが実際にある「答え」を考えさせる「知識を問うもの」に対し、なぞなぞは明確な答えがあるわけではなく、「ユーモアと柔軟な思考」で「自らの答え」を見つけ出す遊びです。正解があった時代から正解がない時代へ入ったといわれる今日、まさにこの「自らの答え」を見つけ出す力が子どもたちには必要です。自分なりのオリジナルの答えで自信をもってチャレンジして欲しい!という願いを込めて、楽しいなぞなぞを盛り込んだこのお芝居をお届けします。子どもたちは、カドヤのおじさんと謎の番人から出されるなぞなぞを夢中になって考え、見つけ出した自分の答えに歓喜の声を上げることでしょう。